

WHO ファクトシート

リーシュマニア症

Leishmaniasis

2018年3月

重要な事実

- ・リーシュマニア症には主に3つの種類があり、それは内臓リーシュマニア症(カラアザールとも呼ばれ最も重症化する)、皮膚リーシュマニア症(最もよくみられる)、粘膜皮膚リーシュマニア症である。
- ・リーシュマニア症は、原生生物のリーシュマニア寄生虫によって引き起こされ、感染した雌のサシチョウバエに咬まれることで伝染する。
- ・地球上でも最貧困層の人々の一部がこの疾病に感染しており、栄養不良、住民の移動、粗末な住居、弱い免疫体制、リソース不足などに関係している。
- ・リーシュマニア症の伝播は、森林破壊、ダム建設、灌漑計画、都市化などといった環境の変化とも関係している。
- ・毎年新たに約70万から100万人が感染し、2万から3万人が亡くなっている。
- ・リーシュマニア寄生虫に感染した人の中で、最終的に発症するのはごく少数である。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)には全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい (改定前)

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Leishmaniasis ファクトシート原文は [こちら](#)